

WG14「感察工学研究会」の御案内

1. 設置背景

(1) 研究対象領域の現状分析

- ・外観検査（マシンビジョン）の対象領域の拡大：多数の研究領域の形成→核化→（閉塞化）
- ・産業界の変革への対応：電機・自動車業界→環境・エコ・持続社会へのシフト

(2) 新学問領域創出の糸口

- ・周辺視の特質
生物の視覚の発達：周辺視→中心視
瞬時の判断・評価：異常の発見，良さ・美味しさを瞬時に判断
凝視：じっと見る中心視ではわからない，精密に計測すればするほどわからなくなる
- ・人の特質
新たな機器の操作：ぱっとできる人とそうではない人の違いとは？
外面（外観）から内面（機構）を予測する能力，先読みする能力，好き嫌いの発生とは
- ・感性工学の実利用化

2. 設置趣旨

中心視と周辺視を対立軸として，それらを包含する学問領域の創出を図ると共に，現状の技術の調査，整理を行う事を目的にWG14「感察工学研究会」（Kan-satsu Engineering Interest Group）を設置する。2013年度より次の2つの検討グループを設置。

- ①現場実測&指導検討グループ（幹事：石井）
- ②周辺視の画像処理実現検討グループ（幹事：中島）

3. 活動

研究会（2～3回／年），勉強会（特定テーマについての学習），企業見学（目視検査現場の視察・討論）
周辺視目視検査の普及活動，感察工学の体系化

4. WG14委員

主査：石井明(香川大学)

委員：中島慶人・廣瀬文子(電力中央研究所)，中野宏毅(日本 IBM)，森由美(成城学園)，広瀬修(住友化学)，劉偉・飛田奈穂美(ファースト)，佐々木章雄(周辺視目視検査研究所)，丸地三郎(日本古代史ネットワーク)，有友秀樹(ウエスタンデジタル)，小橋俊秀(CCS)，小川尚志(エンボス)，外崎真理子(アイフォーコム東京)，中村俊・西村邦広(コルラボ)，小柴満美子(山口大学)，石井明(立命館大学名誉教授)，葛岡英一(大倉工業)，横井俊幸(本田洋行)，田代安彦・吉藤賢治(三菱マテリアル)，清水創太(芝浦工業大学)，新堀克美(G-SA&C)，皆川健多郎(大阪工業大学)，滝聖子(千葉工業大学)，野村和史(日本生工技研)，山中正雄(トヨタ IT 開発センター)，岩崎謙次(東京都立産業技術研究センター)，蒔田哲郎(三菱電機株式会社生産技術センター)，谷崎隆士(近畿大学工学部)，橋本学(中京大学工学部)，青木公也(中京大学工学部)，梶野肇(元中国地域創造研究センター)，本郷満(中国地域創造研究センター)，澤田秀之(早稲田大学先進理工学部)，依田真由子(群馬パース大学)，柴垣太郎(池上通信機)，鈴木茂洋(デンソー北海道)，吉浦豪(オムロン)，金田篤幸(ガゾウ)，高見孝一(ゴムノイナキ)，神澤啓彰・中山泰(ダイハツ工業)，荒川雅裕(名古屋工業大学)，叶賀卓(産業技術総合研究所・人工知能研究センター)，若井宏平(クリイノ創研)，酒井薫(日立製作所)，今堀勇三(レイマック)，中嶋良介(電気通信大学)，肥田拓哉(青山学院大学)，濱崎祐太郎(トビー・テクノロジー)，篠田正行(AGC旭硝子 AGCモノづくり研修センター)，小早瀬敦行(スマックス)，青木義満(慶應義塾大学)，吉川真二(三條機械製作所)，奥山弦(カネカ)，梶原雅典・新屋勝也(キーレックス)，尾田恵(菜インテリアスタイリング・日本インテリア健康学協会)，亀谷和義・土岡智則(ワイテック)，西雄一郎(三菱重工業)，長谷川陽一(スピンプライド)

顧問(永久)：角田興俊(元日本 IBM 元東京電機大学)

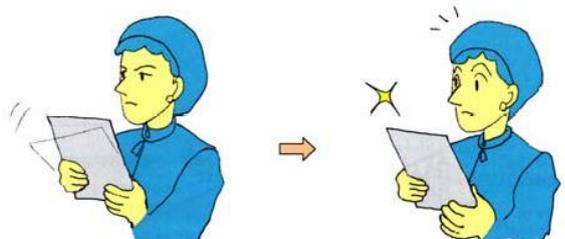
* 随時、委員を増員する。

5. 設置期間と活動経費

設置：2010年2月より2年間。その後、1年毎更新中。

活動経費：年間10万円

尚，設置期間と活動経費については1年毎に見直す。



6. WG14への入会

WG14への入会を希望する方は，主査（香川大学 石井 明 e-mail: ishi@eng.kagawa-u.ac.jp）宛に申し出て下さい。入会資格は画像応用技術専門委員会の会員ならびに当該委員の紹介がある方です。会費は不要ですが，必要に応じて資料費を徴収することがあります。

7. その他

唯一の内規：委員間の敬称は「さん付け」とする。（「・・・先生」はご法度）